

7. 生産・出荷・在庫

生産は、総じてみれば、減少しているものの、このところ一部に持ち直しの兆しもみられる。

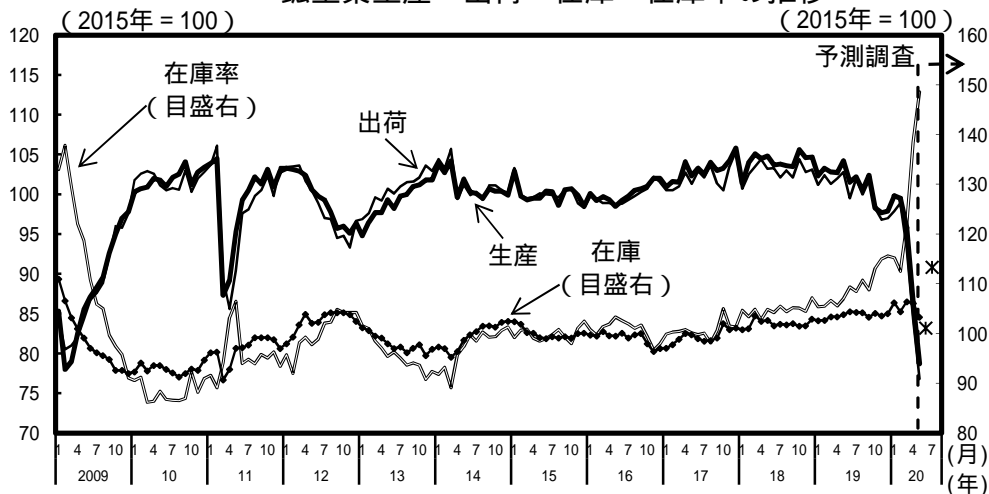
(%)

	[2018年] 2018年度	[2019年] 2019年度	2019年 7 - 9月期	10 - 12月期	2020年 1 - 3月期	2020年 3月	4月	5月
鉱工業生産指数	[1.1] 0.3	[3.0] 3.8	(1.1) 1.1	(3.6) 6.8	(0.4) 4.5	(3.7) 5.2	(9.8) 15.0	(8.9) 26.3
鉱工業出荷指数	[0.8] 0.2	[2.7] 3.6	(0.1) 0.2	(3.9) 6.5	(0.6) 5.2	(5.8) 6.5	(9.5) 16.6	(8.9) 26.8
鉱工業在庫指数	[1.7] 0.2	[1.2] 2.9	(1.1) 0.9	(0.7) 1.2	(2.3) 2.9	(1.9) 2.9	(0.3) 2.7	(2.6) 0.5
製造工業生産能力指数 (2015年 = 100)	[98.7] 98.6	[98.2] 98.2	97.8	98.2	98.2	98.2	97.7	97.7
製造工業稼働率指数 (2015年 = 100)	[103.1] 102.5	[99.9] 98.3	(100.2)	(95.6)	(95.1)	(92.2)	(79.9)	(70.6)
第3次産業 活動指数	[1.3] 1.1	[0.3] 0.7	(0.8) 1.9	(3.1) 2.4	(1.1) 2.8	(3.9) 5.4	P(7.7) P 13.2	P(2.1) P 15.9

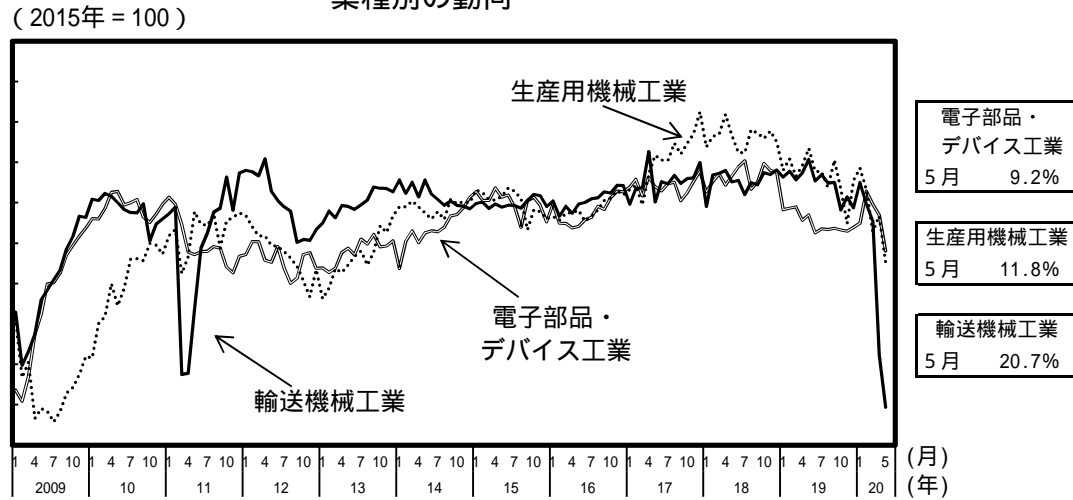
予測調査
6月 5.7%
7月 9.2%

- (備考) 1. 経済産業省「鉱工業指数」「製造工業生産予測調査」「第3次産業活動指数」により作成。Pは速報値。
2. 鉱工業生産・出荷・在庫指数、第3次産業活動指数の暦年・年度の下段は前年度比、上段の[]内は前年比。四半期・月次の下段は前年同期(月)比、上段の()内は季節調整済前期(月)比。
3. 製造工業生産能力指数の暦年・年度の下段は原数値(年度)、上段の[]内は原数値(暦年)。四半期次・月次は原数値。
4. 製造工業稼働率指数の暦年・年度の下段は原数値(年度)、上段の[]内は原数値(暦年)。四半期次・月次は季節調整値。

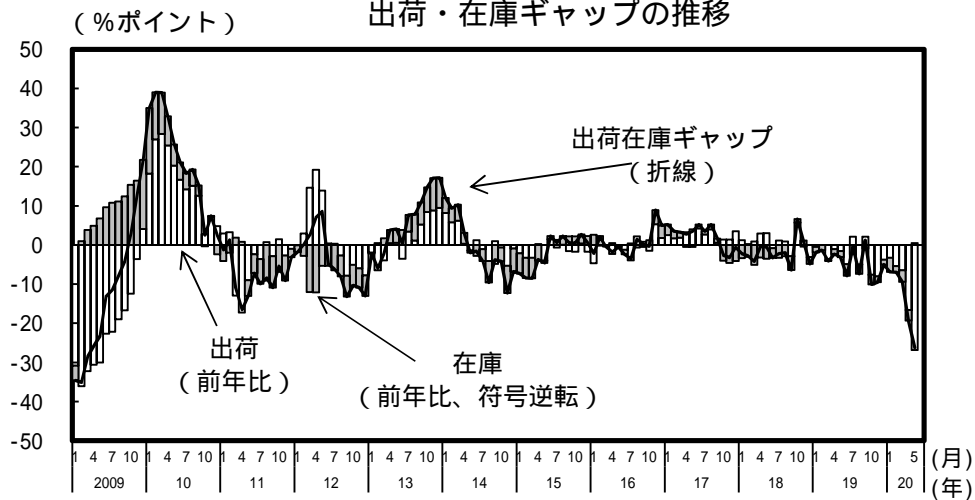
鋳工業生産・出荷・在庫・在庫率の推移



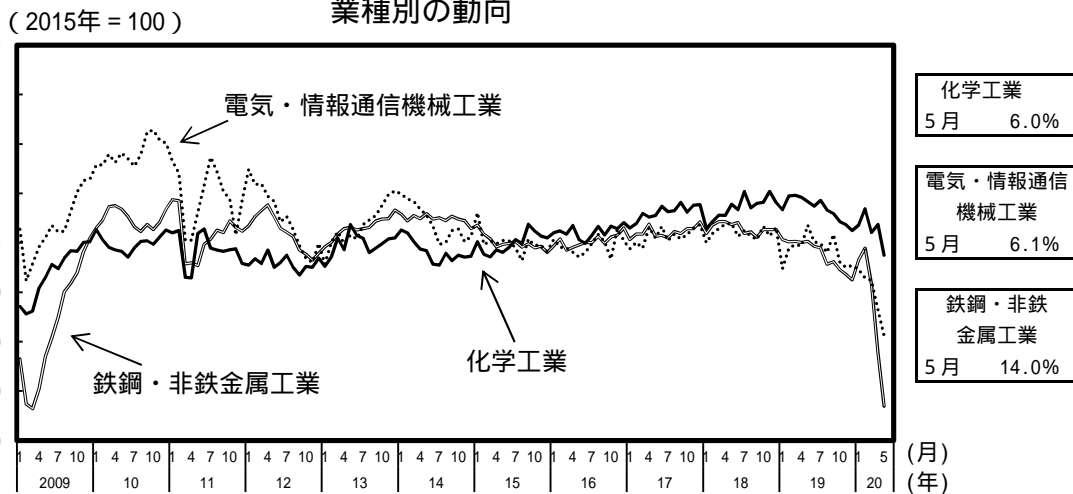
業種別の動向



出荷・在庫ギャップの推移



業種別の動向



(備考) 経済産業省「鋳工業指数」により作成。出荷・在庫ギャップ = 出荷(前年比) - 在庫(前年比)。